

## 探究学習におけるタブレットと図書館資料の複合的活用(研修会報告)

本研究会では、10月24日に「探究学習におけるタブレットと図書館資料の複合的活用」をテーマに研修会を行いました。中央大学図書館司書の梅澤貴典氏をお招きし、近年、調べ学習のツールとして幅広い年齢層に活用されているネット情報に焦点を当てて、講演していただきました。

講演では、下記のことについてお話いただきました。

### ① 「探究学習の意義について」

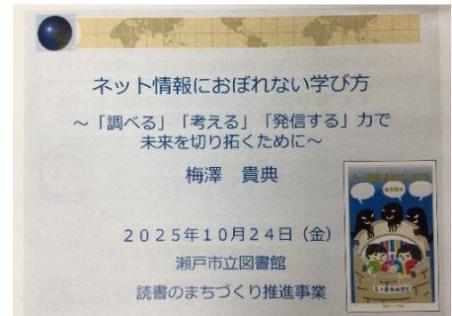
1つのテーマについて、真剣に向き合って「調べる」「考える」「発信する」ことの経験を積むと、これからの人生で出会う多種多様な課題についても、この「3つのスキル」で自ら解決できる力が育つ！

そのために…



確かな情報を探せるようになること  
探究学習の面白さを「腑に落ちて」理解すること

※ これらを指導者が意識して  
探究学習を進めることが必要



### ② 「ネット情報の特性について」

「映画『千と千尋の神隠し』の舞台モデルはどこだと思いますか？」という質問に、参加者からは、「台湾の○○」「○○温泉」など、聞いたことのある地名があがりました。検索エンジンでキーワードを入れると、同じような場所がヒットします。ですが、実際に映画の配信元から公表されている場所は全く違う場所でした。ネットで簡単に検索することができる一方で、その情報の真偽を確かめる方法を知らずに、表示された情報をそのまま信じてしまうことの危険性に気付かされました。

利用者が増えている生成AIも同様に真実だけを選んで提供することはできないので、使い方には注意が必要だということなど、どうすれば確かな情報を探せるのかについて学びました。

### ③ 「ネット時代になぜ読書・図書館を使うのか」

無料で得られるネット情報はほんの一部で、価値のある情報は基本的に有料なことが多いため、本や図書館と複合的に活用することが理想的だというお話でした。

また、現代の図書館の最新事情についても講話いただきましたが、知らないことが多く、書籍の探し方一つにしても随分使いやすくなっていることが分かりました。それに合わせて、図書館司書に相談することでさらに信頼できる情報を探しやすくなるという、図書館を利用する様々なメリットを教えてくださいました。

